

## (奨学金用) 研究業績書の作成方法

理工学部学生課

## 【作成上の注意点】

- ・本研究業績書の作成日、課程、専攻、学年、学籍番号、氏名、指導教員氏名を記入してください。  
指導教員氏名は、大学に届け出ている指導教員の先生のお名前を記入してください。
- ・1.～7.の項目については下記の記入例に倣って記載してください。項目に記入することができない場合は「(1)なし」と記載してください。
- ・研究業績(1.～7.)の対象期間は「大学院入学日～提出日」です。ただし、学部在籍中に研究業績がある場合は、学部在籍中のものも記入してかまいません。
- ・作成後、指導教員に内容の確認および押印をお願いしてください。
- ・複数枚に亘っても構いません。
- ・オンライン開催の学会等に参加した場合は、オンライン参加である旨を明記してください。
- ・研究業績1.～4.および7.について、書類提出時に採択が決定していないものや、**投稿中・投稿予定**のものは記載できません。

## 1. 公刊学術論文（最近のものから順に(1)、(2)、(3)・・・と番号を付して記載）

(記入例)

- (1) Keio, Taro; Hiyoshi, Jiro; Kimura, Saburo; Mori, Ichiro, Giant nonlinear phase shift at exciton resonance in ZnSe, *Appl.Phys.Lett.*, Vol.60, No.2, pp.192-194, 2022年8月15日掲載 Impact Factor (2021): 3.841.

(ア)査読付論文で掲載済、掲載予定、掲載決定のものを記入

(イ)著者(全員、論文記述順)、論文題目、掲載論文誌名(巻・号・頁)に加えて、「○年×月△日掲載済(既に掲載されている場合)、○年×月△日掲載予定(掲載日が決定している場合)、○年×月△日掲載決定(掲載自体は決定しているが、掲載日は未定の場合)」のいずれかを記載する

(ウ)学術誌のインパクトファクターはJournal Citation Reportsを調べ、「Impact Factor: ○○○」と記載。Journal Citation Reportsに載っていない学術誌の場合は「Impact Factor: 不明」と記載する

## 2. 国際会議プロシーディング（ここに記載したものは、次の「3. 国際会議発表」には重複して記載しないこと、発表講演者にはアンダーラインを付すこと）

(記入例)

- (1) Jiro Hiyoshi, Taro Keio, Hanako Suzuki, GUI design solution for a monocular, see-through head-mounted display based on users' eye movement characteristics, 15th International Conference on Human – Computer Interaction, pp.102-105, Detroit, USA, 2022年11月15日発表済。

(ア)著者(全員、論文記述順、発表者に下線を引くこと)、論文題目、発表会議名(主催学会名)、開催地(国)、開催年月日を明記。加えて、「○年×月△日発表済(既に発表している場合)、○年×月△日発表予定(発表日が決定している場合)、○年×月△日発表決定(発表自体は決定しているが、発表日は未定の場合)」のいずれかを追記する。

## 3. 国際会議発表（上記「2. 国際会議プロシーディング」に記載していない国際会議での発表を記載すること、発表講演者にはアンダーラインを付すこと）

(記入例)

- (1) Jiro Hiyoshi, Taro Keio, Hanako Suzuki, Giant Excitonic Optical Nonlinearity in ZnSe, 5th International Conference on II-VI Compound, Detroit, USA, 2022年11月15日発表済。

(ア)著者(全員、論文記述順、発表者に下線を引くこと)、論文題目、発表会議名(主催学会名)、開催地(国)、開催年月日を明記。加えて、「○年×月△日発表済(既に発表している場合)、○年×月△日発表予定(発表日が決定している場合)、○年×月△日発表決定(発表自体は決定しているが、発表日は未定の場合)」のいずれかを追記する。

るが、発表日は未定の場合)」のいずれかを追記する。

4. 国内講演会発表（発表講演者にはアンダーラインを付すこと）

（記入例）

（1）矢上花子、慶應太郎、磁気利用センシングシステムの現状と将来展望、第51回日本〇〇学会、横浜パシフィコ、横浜、2022年9月15日発表済。

（ア）発表者（下線を引くこと）・連名者、論文題目、発表会議名（主催学会名）・開催地、開催年月日を明記。それに加え、「〇年×月△日発表済（既に発表している場合）、〇年×月△日発表予定（発表日が決定している場合）、〇年×月△日発表決定（発表自体は決定しているが、発表日は未定の場合）」のいずれかを追記する。

5. 特許（業績に番号を付すこと）

（記入例）

（1）矢上一郎（50%）、慶應太郎（30%）、鈴木花子（20%）、並列分散制御におけるリアルタイム通信方式、特願平9-127876号（特開平10-307803号、特許番号1234567号）、2022年1月15日出願。

（ア）発明者全員（それぞれの貢献度%を記入すること）、名称、特許出願番号、公開（出願）年月日を記載。申請中の場合は申請番号を明記する。

6. 賞罰（教育研究活動に関するもののみ記入する。また賞罰に番号を付すこと）

（記入例）

（1）慶應太郎、〇〇優秀発表賞、日本〇〇学会、磁気利用センシングシステムの現状と将来展望（第51回日本〇〇学会）、2022年9月15日受賞。

その説明：約100名の講演者の中から5名が選出され、受賞される

（2）慶應太郎、藤原賞、慶應義塾大学理工学研究科委員長村上俊之、手書き文字の個人性特長の定量化ならびにカラーディジタル画像の全自動画像改善法の開発、2022年3月26日受賞。

その説明：専攻選出の推薦候補者20名から理工学研究科で3名が選出され、受賞される

（ア）受賞者、名称、授与者（団体名）、受賞年月日を記載。受賞者が個人受賞の場合は個人名を、連名受賞の場合は全員の氏名を記載。また、必ず「その説明：」を上記例に倣って記入する。

7. 建築・設計の業績（設計・制作の業績はここに記入する。）

（記入例）

（1）慶應太郎、慶應花子、屋根のない家、佳作入選、第40回〇×工業建築設計競技、〇×工業、2022年1月15日。

その説明：応募作品数540件のうち入賞作品11点に選出され、最優秀賞・優秀賞に次ぐ佳作に選出され、□△展で展示された。

（2）慶應太郎、慶應花子、壁のない家、住宅建築、Vo.92. No.10, pp.102-105, 2022年2月13日掲載済。

（ア）コンペ等への入選の場合…設計者全員の氏名、作品名、入選（受賞）レベル、催し物名称、主催者（団体）名、年月日を記載。また、必ず「その説明：」を上記例に倣って記入する。

（イ）定期刊行誌等への掲載の場合…設計者全員の氏名、作品名、掲載誌名（巻・号・頁）に加えて、「〇年×月△日掲載済（既に掲載されている場合）、〇年×月△日掲載予定（掲載日が決定している場合）、〇年×月△日掲載決定（掲載自体は決定しているが、掲載日は未定の場合）」のいずれかを記載する

8. その他の業績 [著書, データベースやソフトウェアなどの著作物 (ただし上記 1.~7. に記したもののは除く), KEIO TECHNO MALL, その他上記 1.~7.以外の教育研究活動に関する実績などはここに記載する。]

(記入例)

(1) 慶應太郎, 矢上花子, スポーツにおける大規模データの活用実演, 高島屋横浜店(中高生サイエンスフェア会場), 中高生に向けて情報技術の内容を発表, 2022 年 8 月 1 日発表.

(ア)著作、ソフトウェア、コンペ、展示会、その他の活動を記入

(イ)発表者 (全員)、発表物の名称・内容、発表出版・発表場所、内容、発表年月日を記載する。